

# 「部活MaaS」×「EVタクシー」(北海道帯広市)

## 子育て×交通

### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】TKタクシー株式会社
- 【実施主体】TKタクシー株式会社
- 【共創パートナー】ふれいおん・とかち(子育て)  
全国子育てタクシー協会(子育て) 他

### 地域課題

- ・ タクシー業界では需要が減少かつドライバー数が減少。
- ・ 生徒数の減少で、複数の学校から成る合同部活動の活動場所までの移動手段の確保が保護者の負担。
- ・ デマンドタクシーの効率的なマッチングが行えていない。
- ・ EV所有者が数少ない充電器設置場所を探し、その場所へ行っても他の人が充電していて、必要なタイミングで充電できない。

### 実証事業の内容

- ・ EVによるデマンドタクシーを活用した合同部活動の移動実証。
- ・ EV充電器利用状況の見える化実証。

### 今後の展開

- ・ 2年目はモデル地区、運行期間は変更せず、競技数を増やす予定。
- ・ 3年目はモデル地区、競技数を増やし、4年目以降の実装に備える。

### 事業実施区域



引用：国土地理院

### 事業体制



# デジタル技術を活用した持続可能な地域運行サービス実証(北海道岩見沢市)

まちづくり×交通

国土交通省

## 事業実施主体

【共創プラットフォーム】  
岩見沢市自動運転EVバス実証共創プラットフォーム  
【実施主体】岩見沢市  
【共創パートナー】  
岩見沢地区ハイヤー協会（日の出交通株式会社）（交通）他

## 地域課題

人口減少や少子高齢化、産業の空度化、過疎化が進む農村地域など地方では大きな課題に直面し、また、交通事業者の人材不足等の影響から、医療や買い物などの生活の足の確保などについても、喫緊の課題となっている。

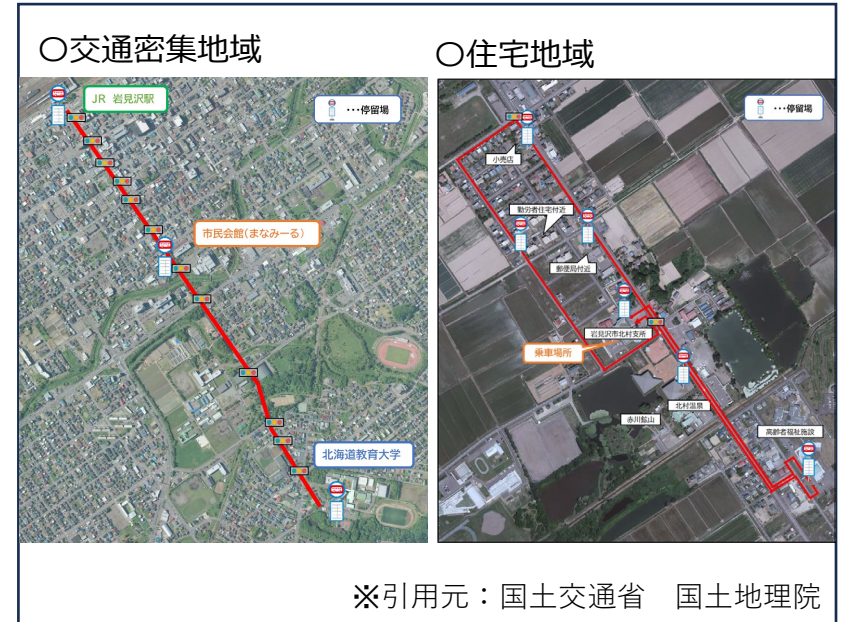
## 実証事業の内容

- 行政と交通事業者、市内事業者が連携し、持続可能な地域サービスを検討するため、自動運転EVバスを活用して、遠隔監視や地域MaaS、ニーズ調査などを実施し、データ集計・分析・検証を行う。
- 課題解決につながるデジタル活用によるサービスや地域資源・特性を活かした事業展開の整理や持続性の確保などの検証を行う。

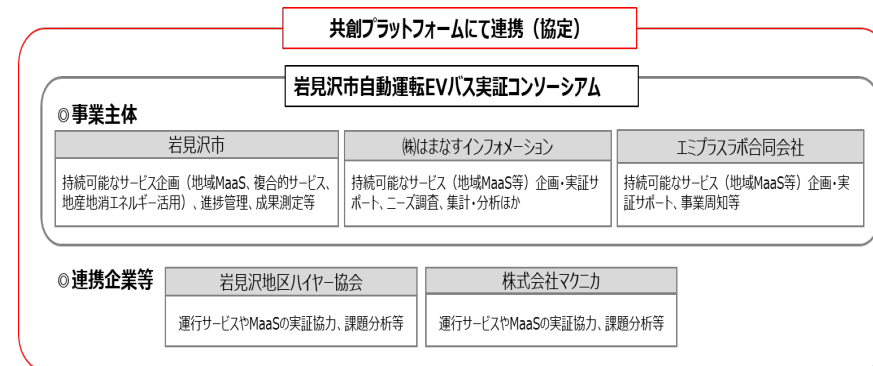
## 今後の展開

- 2024年度：地域MaaSや車内サイネージを活用した情報発信等の持続可能なサービスの内容について、ニーズ調査結果によるEBPMの評価検証を踏まえた実証を行う。
- 2025年度：2024年度までの実証を踏まえ、持続可能なサービスを実装する。

## 事業実施区域

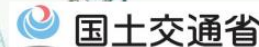


## 事業体制



# 習い事応援タクシー実証実験(士別市地域公共交通活性化協議会)

## 教育×交通



### 事業実施主体

【共創プラットフォーム】  
士別市習い事応援タクシー実装プラットフォーム  
【実施主体】士別市地域公共交通活性化協議会  
【共創パートナー】株式会社士別ハイヤー（交通）  
一般財団法人士別市スポーツ協会(スポーツ)

### 地域課題

「合宿の里」として様々なスポーツ団体を受け入れすることで、市民のスポーツへの意識が高い中、子どもの部活や習い事を交通手段がないことにより断念せざるを得ない状況

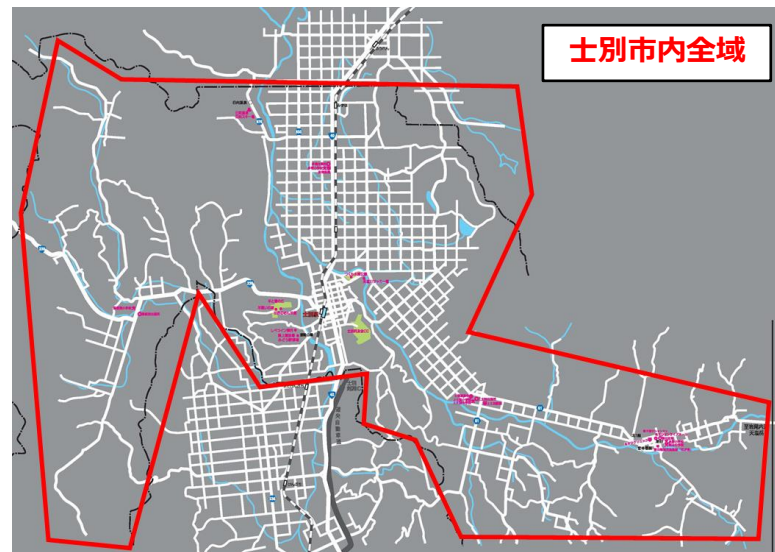
### 実証事業の内容

小中学生の習い事に関する乗合タクシー送迎を、利用者負担を軽減したうえで実施する。

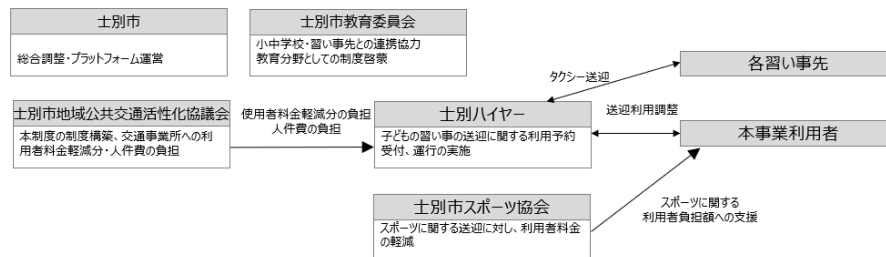
### 今後の展開

予約方法・利用料金・保護者ニーズ等の利用者意見を徴収するアンケート調査を実施し、利用実績や傾向の分析を踏まえ、各関係団体との連携などにより、利用料金の適正化・システムの導入による効率化・さらなる協力団体の拡大等を検証し、持続可能な制度として今後運用できるよう取り組みを行う。

### 事業実施区域

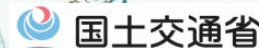


### 事業体制



# 石狩市AIオンデマンド交通実証運行「いつも」(北海道石狩市)

## 買い物・医療×交通



### 事業実施主体

【共創プラットフォーム】

石狩市地域公共交通活性化協議会共創部会

【実施主体】石狩市

【共創パートナー】

ダイコク交通株式会社(交通)、三和交通株式会社(交通)

イオン北海道株式会社(商業)、株式会社ラルズ(商業)

社会医療法人ピエタ会石狩病院(医療) 他

### 事業実施区域



### 地域課題

- ・ 就業者が2万人を超える石狩湾新港地域の操業企業は、送迎バスの運行管理に係る業務及びコストの負担並びに運転手不足が課題となっている。
- ・ 運転免許の返納後も買い物や通院のための移動手段の確保も課題となっている。

### 実証事業の内容

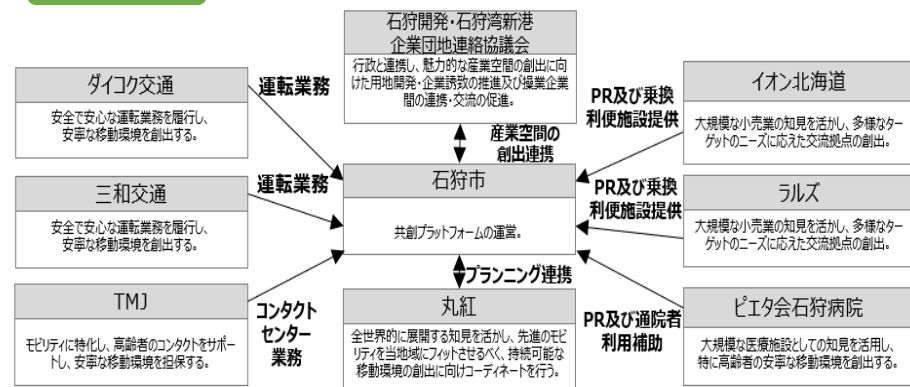
多様な産業空間である石狩湾新港地域における操業企業の「通勤オンデマンド」と、交通空白地である生振地区、交通不便地域である緑苑台地区及び高齢化が進む花川地区などで買い物及び通院のための移動手段の「市内オンデマンド」の2つの交通サービスを、AIオンデマンド交通として実証運行する。

### 今後の展開

通勤オンデマンドでは、自社送迎バスを運行していた企業から、市内オンデマンドでは、買い物及び通院需要の利用を促進し、AIオンデマンド交通への転換や、利用促進による運賃収入の増加を見込み、持続可能な体系を構築する。

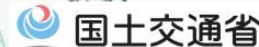


### 事業体制



# 面瀬地区デマンド交通実証運行(宮城県気仙沼市)

## まちづくり×交通



### 事業実施主体

【共創プラットフォーム】

気仙沼市(面瀬地区)デマンド交通実証運行実施協議会

【実施主体】気仙沼市

【共創パートナー】宮城県タクシー協会気仙沼支部(交通)

面瀬地区まちづくり協議会(まちづくり)

面瀬地区自治会長連絡協議会(まちづくり)

### 地域課題

- ・人口減少や少子化の影響で公共交通の利用者が減少し、行政負担額の増加が続いている。
- ・当地区は面的な広がりがあり、定時定路線形式ではその全てをカバーできないほか、狭隘で急勾配の道路も存在するなどの理由から、公共交通空白地域が多数存在している。
- ・従来の手法にこだわらない、新たな交通体系の導入が必要。

### 実証事業の内容

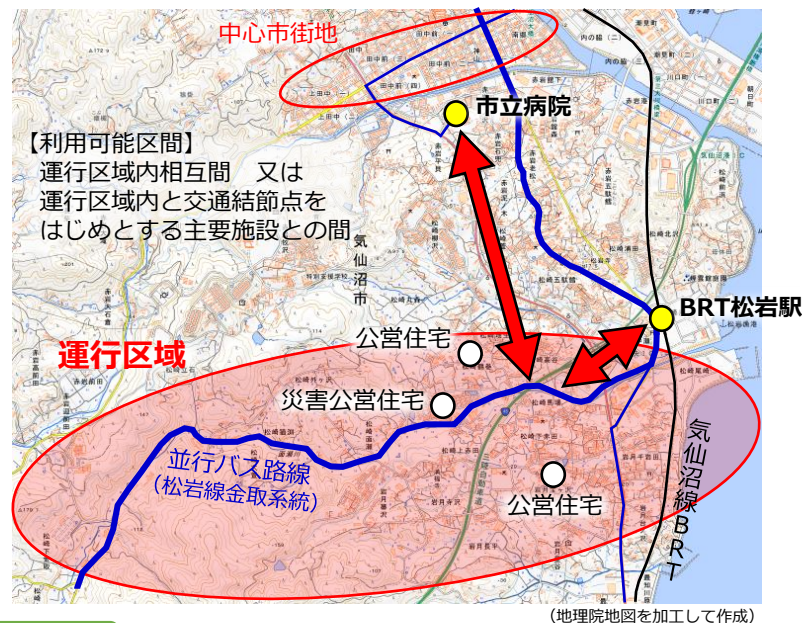
出発時刻固定・ミーティングポイント型デマンド交通の実証運行を実施する。住民組織と連携し、デマンドを活用した高齢者等の外出機会の創出(コミュニティづくり・健康づくり)に繋げる。なお、需要に限られた郊外部での運行となることから、予約や配車にシステムを使用せずコストを抑えた形態とし、横展開の容易さにも配慮した。

### 今後の展開

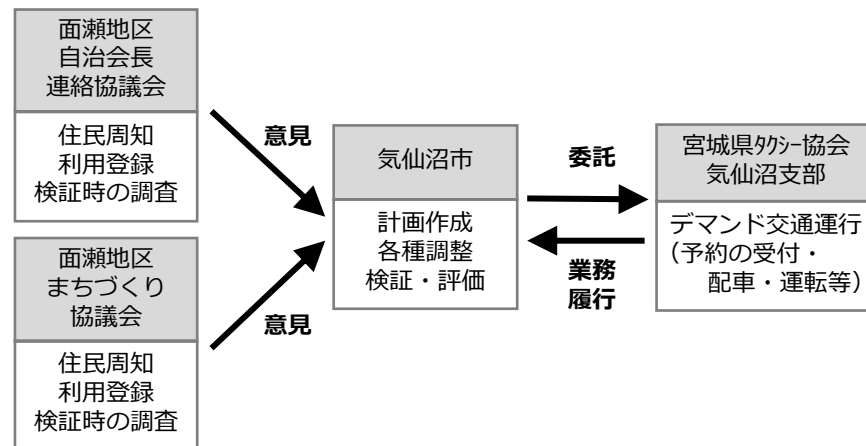
継続的な取り組みが可能と判断した場合は本格運行に向けた準備を進める。本格運行の際は、運行区域における並行バス路線を廃止し、同地区における公共交通運行の効率化を図る。また、補助事業によって培ったデマンド交通運行のノウハウを活用して、市内他地区に横展開を検討する。

### 事業実施区域

気仙沼市面瀬地区及び松岩地区金取区



### 事業体制



# 複数事業者による公共交通ネットワーク拡充プロジェクト(福島県福島市・川俣町)

医療・福祉×交通

国土交通省

## 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
福島市及び川俣町共創プラットフォーム
- 【実施主体】福島交通株式会社
- 【共創パートナー】有限会社カネハチタクシー（交通）  
社会福祉法人恩賜財団済生会支部福島済生会  
済生会川俣病院(医療)  
社会福祉法人信達福祉会特別養護老人ホーム  
川俣ホーム(福祉)  
福島市・川俣町(自治体)

## 地域課題

- 自治体から委託されているコミュニティバスは異なる事業者で運行されているため、広域公共交通ネットワークの中では分断されており、域内・域外からの来訪者への利便性が悪い。
- 現状、ODデータの取得もできておらず、コミュニティバスの利用促進のための施策を考えるうえで、基礎となるデータが不足している。

## 実証事業の内容

- コミュニティバス運行会社と広域の公共交通ネットワークを運行する会社が協働で同一の交通ネットワークサービスを構築・提供
- コミュニティバスODデータが個別に蓄積でき、かつGTFSデータ等が外部に提供できるよう、既存ソフトウェアを改修する。
- 済生会川俣病院及び川俣ホームは、敷地内への停留所の設置や運行の許可をし、路線バスのPRに努める。

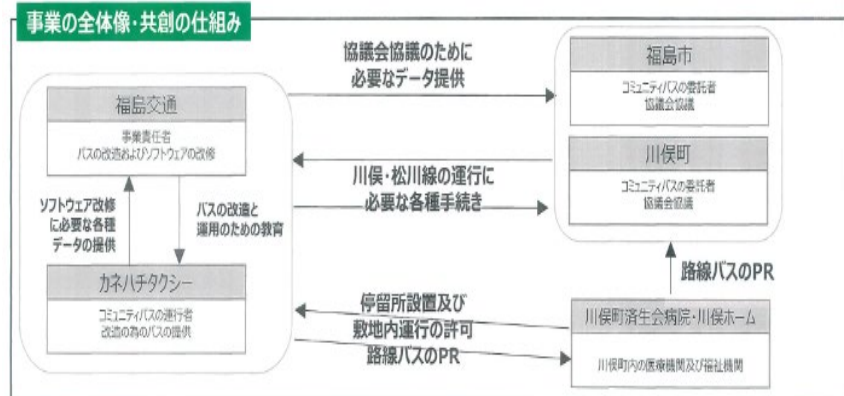
## 今後の展開

共創事業で構築した共通プラットフォームが正しく運用されているのかを検証し、横断的に取得したODデータを検証しながら適切な運行計画や利用促進施策を立案する。

## 事業実施区域

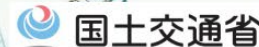


## 事業体制



# 定時定路線バスとデマンド交通・鉄道を統合したまちなか交通サービスの再構築（福島県会津若松）

## 医療・買い物×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
会津SMP共創プラットフォーム
- 【実施主体】会津Samurai MaaSプロジェクト協議会
- 【共創パートナー】会津乗合自動車株式会社（交通）  
一般財団法人竹田健康財団(医療) 他

### 地域課題

- 複数回の路線再編でも解決に至っていない「城下町特有のまちなか移動の課題」
- 郊外部からまちなかへアクセスする鉄道・バスの運行本数が限定的でサービスがバラバラに提供されることによる「マイカー・送迎に頼らざるを得ない移動の課題」

### 実証事業の内容

- 路線バス事業者のまちなか循環バス（自主路線）の一部便をデマンド交通に転換させ、医療・商業施設等と連携・協働して乗降ポイントの設置や施設内での案内・予約受付などを実施。
- 鉄道事業者と路線バス事業者の連携・協働により、料金・チケット・案内等を一体的に提供。

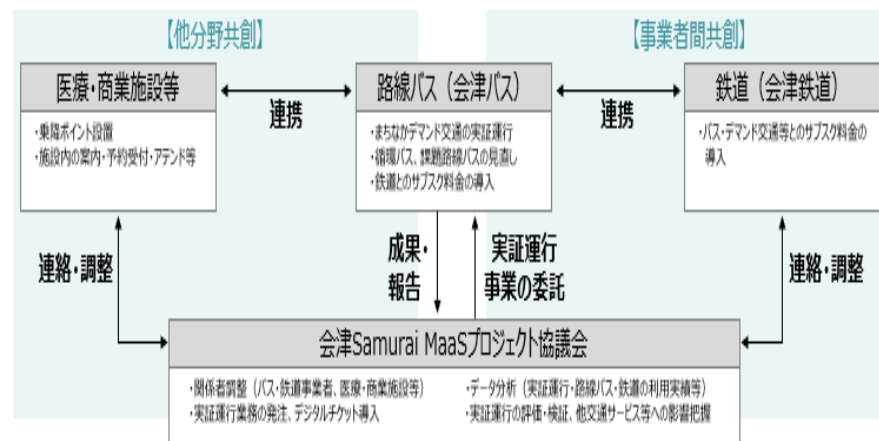
### 今後の展開

会津圏域地域公共交通利便増進事業への位置づけや、事業により生じる多様な効果を踏まえた様々な主体からの財政的負担・支援のあり方（他分野共創の深化）、自主路線と補助路線の統合化（官民共創）などを視野に検討する。

### 事業実施区域

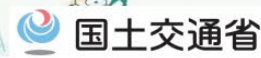


### 事業体制



# 郡山市安積町における定額乗り放題活用生きがい促進事業(福島県郡山市)

## 買い物・観光×交通



### 事業実施主体

【共創プラットフォーム】  
郡山市安積町生きがい促進プラットフォーム  
【実施主体】郡山観光交通株式会社  
【共創パートナー】株式会社ヨークベニマル（商業）  
ホテルバーデン（観光）  
なりた温泉（観光）他

### 地域課題

「高齢者の足の確保」が課題であるが、地域コミュニティの縮小や人間関係が薄れ孤独化していること、移動を促進するための仕組みに対する理解が進まないことで、高齢者が外出意欲を喪失している。従来型の定時定路線にこだわらない、新たな交通体系の導入が必要。

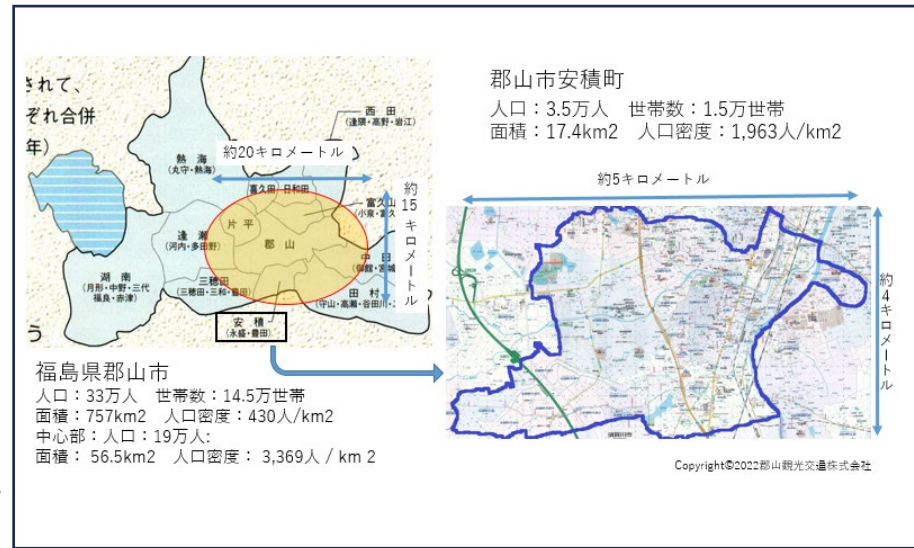
### 実証事業の内容

買い物施設、温泉施設と地元の安積町商工会との連携により移動×生活×観光の共創基盤を構築。既存定額会員システムのデジタル化と決済サービス「Ticket QR」の連携により、会員の移動・行動データを取得・分析。施設との連携により、外出機会増大のための企画立案。

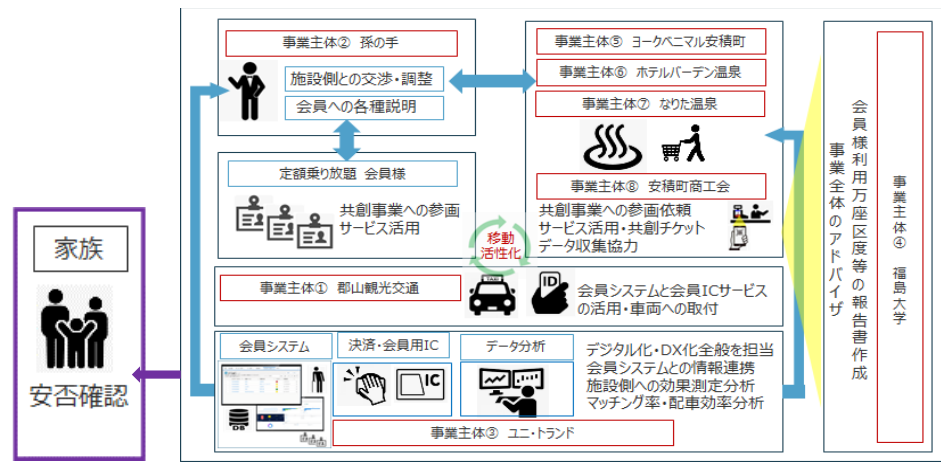
### 今後の展開

今年度実施した連携結果に従い、地域住民や施設、商工会へ改善提案を可能とし、単なる外出機会創出だけでなく、安積町商工会所属企業を中心に、安積町地域内の連携協働＝共創企業を増やし地域住民・事業者側、双方メリットのある外出を促す。

### 事業実施区域



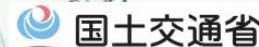
### 事業体制





# 長沼地域西部エリアオンデマンド交通実証運行事業(福島県須賀川市)

## 買い物・福祉×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
長沼地域西部エリア共創プラットフォーム
- 【実施主体】須賀川市
- 【共創パートナー】福島交通株式会社 (交通)  
長沼観光タクシー合資会社 (交通)  
協同組合ながめまショッピングパーク (小売)  
社会福祉法人岩瀬福祉会 (福祉)

### 地域課題

長沼地域は、市中心部から離れた郊外エリアとなっている。幹線の路線バス以外の公共交通機関がなく、バス停までも距離がある交通不便地域である。

### 実証事業の内容

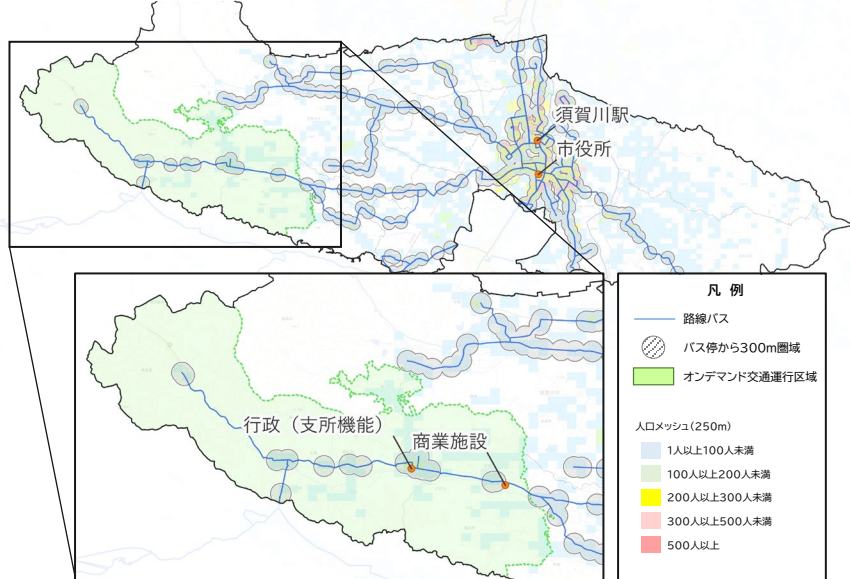
複数の交通事業者と、福祉事業者や商業者という他分野の主体と連携・協働し、エリア内におけるAI配車システムを導入したオンデマンド型乗合交通の運行を実施する。

オンデマンド型乗合交通と路線バスの決済方法の共通化による月額定額制や商業者と連携した代理予約受付、待合環境の整備などを行い、公共交通ネットワークのリ・デザインを図る。

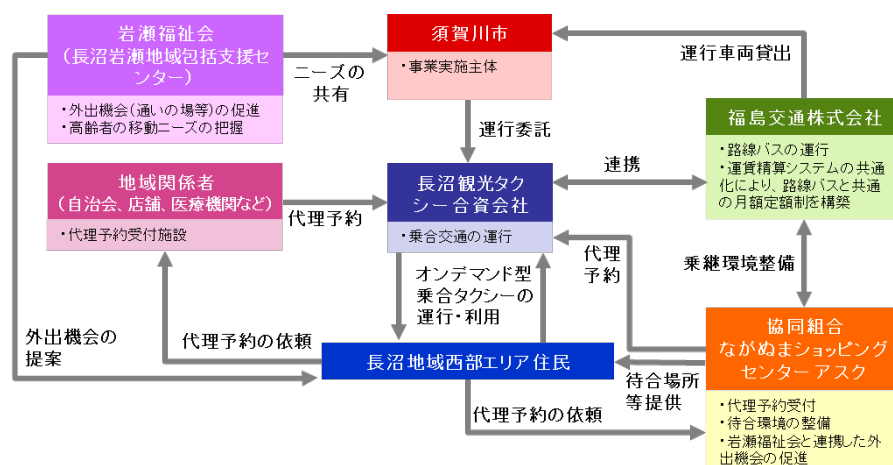
### 今後の展開

- 令和7年度以降の本格運行を目指す。
- 運行経費のうち収入で賄えない部分は市で負担するが、負担額の平準化を月額定額制により行う。
- AI配車システムにより効率的な運行体制を実現し、運行エリア拡大と拡大に伴う経費増のバランスを最適化していく。
- 福祉分野との連携により介護予防効果を創出し、要介護認定率の低下や介護保険使用料の減少というクロスセクター効果を事業維持にあたっては踏まえていく。

### 事業実施区域

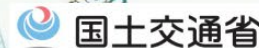


### 事業体制



# あさかデマンド乗合サービス(埼玉県朝霞市)

## まちづくり×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】あさかデマンド乗合サービス
- 【実施主体】積水化学工業株式会社
- 【共創パートナー】昭和交通株式会社(交通事業) 他

### 地域課題

地域の交通利便性の向上と近隣の交通不便地域の改善。

### 実証事業の内容

- あさかりードタウン及び根岸台七丁目地区の住民を対象に、和光市駅南口まで道路運送法第21条による一般乗用旅客運送事業者による**乗合事業**を実施。
- 乗車時は**AIオンデマンド交通システム**(チョイソコ)の予約サイトからの予約制。
- 朝は通勤需要も鑑み時間の調整が行いやすい**定期便**とし、日中は乗りたい時に行きたい場所へ気軽に乗車可能な**デマンド便**にて実証事業を実施。

### 事業実施区域



※地図提供 国土地理院



- (1) あさかりードタウン  
(2) 水久保公園  
(3) 和光市駅(南口)  
→3ヶ所を結ぶ

### 事業体制

#### 事業実施主体①

事業の企画・進捗管理・資金調達  
実証運行データの解析

積水化学工業株式会社



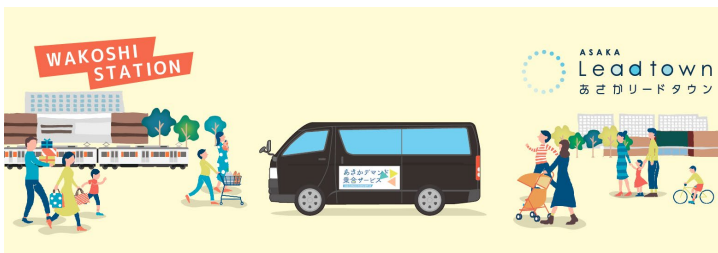
#### 事業実施主体②

実証運行の実施・実証運行データの解析  
地域公共交通等への報告

昭和交通株式会社

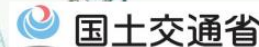
### 今後の展開

実証運行のデータ解析・サービス需要を正確に把握するとともに、近隣の店舗等との連携による資金面の充実、認知・利用者拡大により持続可能なサービス体系を目指す。  
また、本事業で得たノウハウを水平展開することで、他地域での交通課題の解決、交通利便性の向上を目指す。



# 共創型こども相乗りタクシー実証事業(神奈川県横浜市)

医療・子育て×交通



## 事業実施主体

【共創プラットフォーム】  
こどものみらい共創プラットフォーム

【実施主体】hab株式会社

【共創パートナー】

アサヒタクシー株式会社 (交通)  
明光ネットワークジャパン株式会社 (教育)  
藤が丘スピカデンタルケアクリニック (医療) 他

## 地域課題

- 送迎負荷による共働き子育て層の就労機会損失
- 送迎有無による子供の体験格差拡大
- タクシードライバーの高齢化と採用難、職業イメージ低下
- 丘陵地を背景とした送迎時の車依存とCO2排出

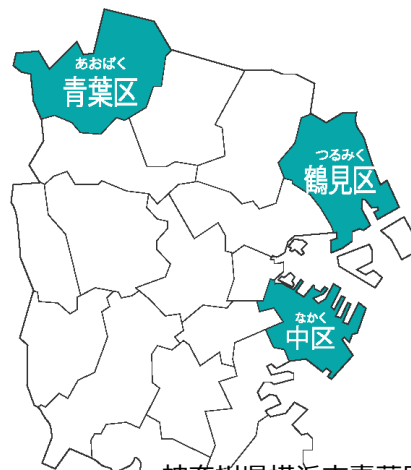
## 実証事業の内容

- こどもだけが乗車する「こども相乗りタクシー」の試験走行
- 「こども相乗りタクシー」の決済時に利用できる「デジタルこどもタクシーチケット」の試験導入

## 今後の展開

乗車賃とタクチケ発行に関する各指標のKPIを各年で達成しながら、持続可能な事業モデルを実現していく。

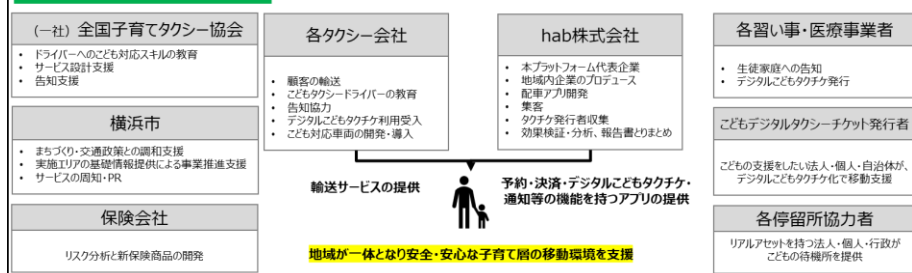
## 事業実施区域



神奈川県横浜市青葉区あざみ野駅、たまプラーザ駅周辺  
神奈川県横浜市中区桜木町、関内駅、山手駅周辺  
神奈川県横浜市鶴見区鶴見駅周辺

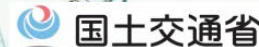
## 事業体制

### 事業の全体像・共創の仕組み



# 共創型コミュニティ交通「つばめ号」検討協議会（神奈川県川崎市）

医療・買い物×交通



## 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
共創型コミュニティ交通「つばめ号」検討協議会
- 【実施主体】LocalIST株式会社
- 【共創パートナー】東栄興業株式会社（交通）  
鎌田クリニック（医療）  
相鉄ローゼン株式会社（商業）他

## 地域課題

- 高台に居住する高齢者は、路線バスのバス停や生活利便施設が立地する麓のバス通りまでの高低差（約40m）の移動に苦慮している。
- 地形や道路幅員等により車両サイズが制約されるため、運賃収入のみで事業性を確保することは困難な状況。

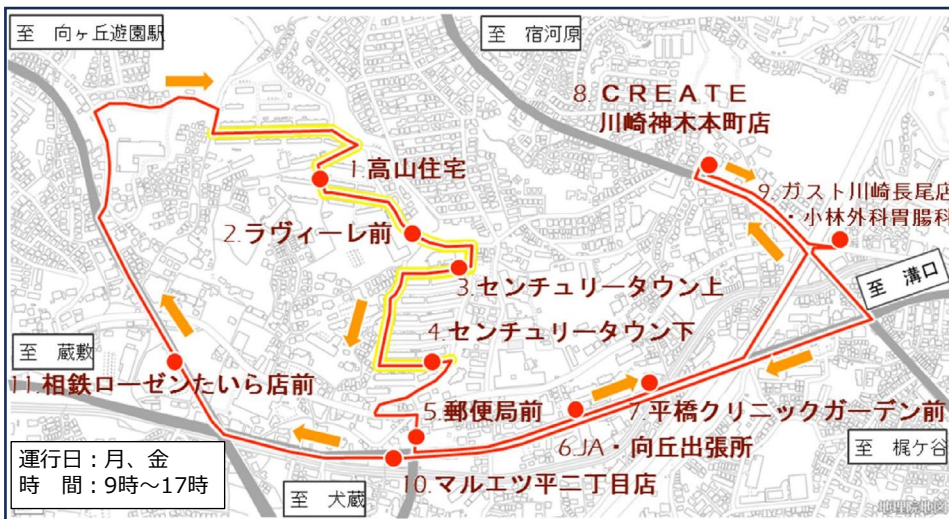
## 実証事業の内容

- 他分野（商業施設や医療機関）との共創によって、「お出かけづくり（外出目的の創出）」と連携した小規模乗合輸送サービスを有償で提供。
- 広告収入や協賛金等の運賃外収入を継続的に確保するための分野横断型支援体制を構築し、他地域に移転可能な郊外型コミュニティ交通モデルを実現。

## 今後の展開

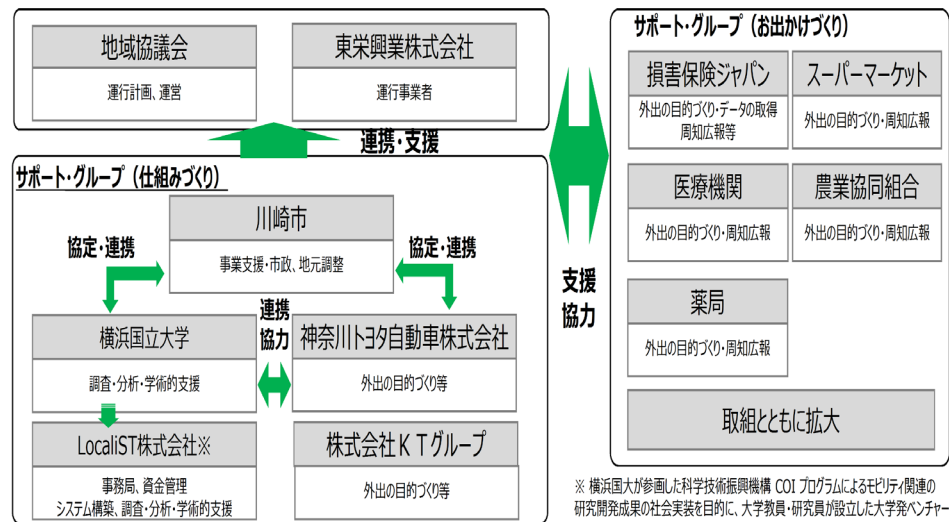
- 持続可能なコミュニティ交通の導入に向けた仕組みづくりについて事業性を検証。
- 事業性の向上に向けた協賛、協力体制を構築。
- 道路運送法に基づく運行に向けて取組を推進。

## 事業実施区域



※下図は国土地理院の「地理院地図」を利用

## 事業体制



※ 横浜国大が参画した科学技術振興機構 COI プログラムによるモバイル関連の研究開発成果の社会実装を目的に、大学教員・研究員が設立した大学発ベンチャー

# 藤沢市天神町AIオンデマンドバス実証の概要(神奈川県藤沢市)

## まちづくり×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
藤沢市天神町AIオンデマンドバス実証共創プラットフォーム
- 【実施主体】 神奈川中央交通株式会社
- 【共創パートナー】 藤沢市（自治体）  
神奈中タクシー株式会社（交通）  
天神町自治会（地元自治会）

### 地域課題

藤沢市内の地域交通の1つである天神町循環線は、利用者が朝夕に集中しているものの、日中時間帯の利用が極端に少ないため、長年に渡りバス路線の維持が課題。

### 実証事業の内容

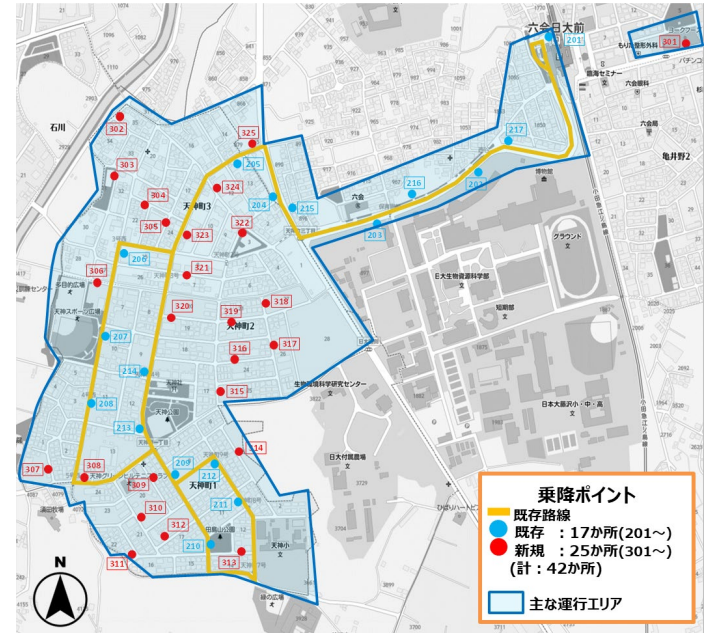
本事業は、官民共創型のプロジェクトとして、神奈川中央交通と藤沢市、神奈中タクシー、天神町自治会が協働し、2024年3月頃のオンデマンドバス実証実験開始を目指している。

現在運行しているバス路線の天神町循環線において、路線維持の観点から輸送力の調整を実施することで、日中時間帯を中心に空白時間帯が発生するため、当該時間帯にオンデマンドバスを運行し、地域特性に応じた交通サービスのあり方を模索するもの。

### 今後の展開

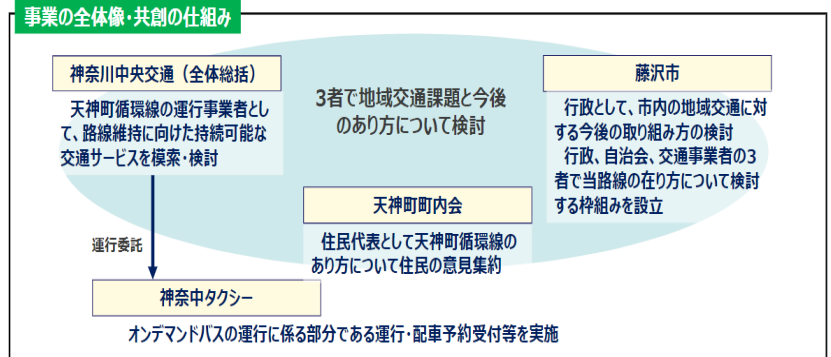
実証結果を受け、日中時間帯のオンデマンドバスによる運行が、運行効率、地域の受容性の面から有効と判断された場合、オンデマンド運行の継続やさらなる展開を積極的に検討する。  
収益面においては、オンデマンドバス運行によるきめ細やかな輸送の実現により、利便性向上という付加価値の創造につなげることで、運賃収入以外の収入源について模索する。

### 事業実施区域



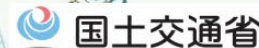
引用：地図Mapion <https://www.mapion.co.jp/m2/35.33904921123121,139.49112484099868,15>

### 事業体制



# 長野市お買い物便プラットフォーム(長野県長野市)

## 買い物×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
長野市交通不便地域解消プロジェクト
- 【実施主体】中央タクシー株式会社
- 【共創パートナー】生活協同組合コープながの(商業) 他

### 地域課題

- ・高齢化の進展による免許返納数の増加で、高齢者を中心に移動手段を確保することが困難になっている。
- ・鉄道やバスなどの公共交通機関は人手不足や利用者減により路線廃止や減便が発生している。

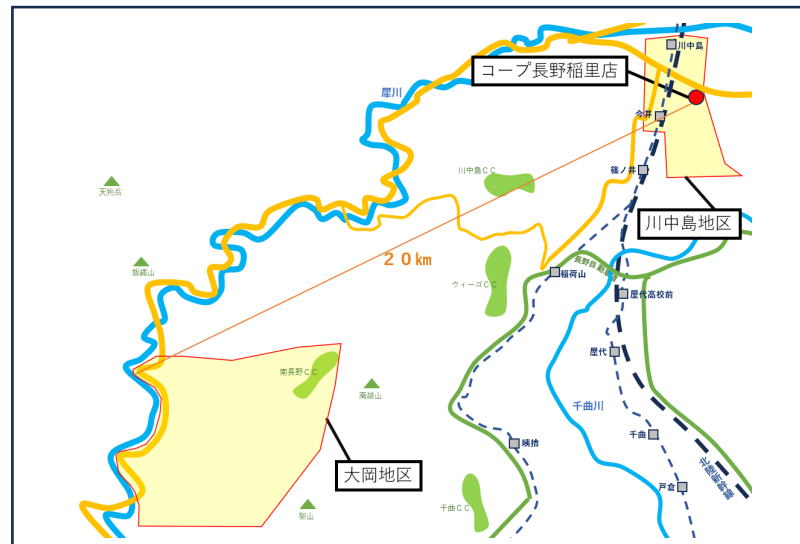
### 実証事業の内容

- ・免許返納した高齢者が移動で不便を感じる場面は買い物が最も多く、買い物の移動手段が大きな課題となっているため、買い物に特化した乗合タクシーを展開する。
- ・乗り合いタクシーを運行することで、自宅からスーパーへドアtoドアの移動を行い、利用者の利便性を高める。

### 今後の展開

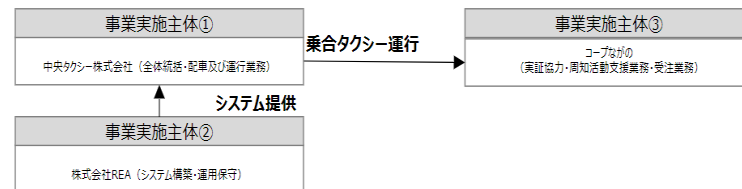
- ・実証事業を行った、乗客数や、お買い物の売上、配車の効果性などの結果を踏まえ、各事業者や地域と相談を重ね、運行の継続を視野に入れて予定をたてていく。
- ・将来的には買い物だけでなく通院や子供の習い事など様々な移動目的への展開を検討できると考えている。

### 事業実施区域



### 事業体制

#### 事業の全体像・共創の仕組み



# 藤枝市AIオンデマンド交通によるまちなか回遊・行動変容事業(静岡県藤枝市)

## まちづくり×交通

### 事業実施主体

【共創プラットフォーム】

藤枝市交通×まちづくり共創プラットフォーム

【実施主体】 静鉄タクシー株式会社

【共創パートナー】

Community Mobility(株)、しずてつジャストライン(株)、  
藤枝地域活性化推進協議会、(一社)SACLABO、  
(株)藤枝江崎新聞店、(有)魚時、Iスピートム(株)、(株)ヨクインテリス静岡  
【協力】 藤枝市

### 地域課題

- 公共交通を補完するため、行政主導のデマンドタクシーなどを運行しているものの需要をカバーしきれていない。
- 交通事業者はドライバー不足と高齢化により、行政支援なしでの地域交通維持が難しい。

### 実証事業の内容

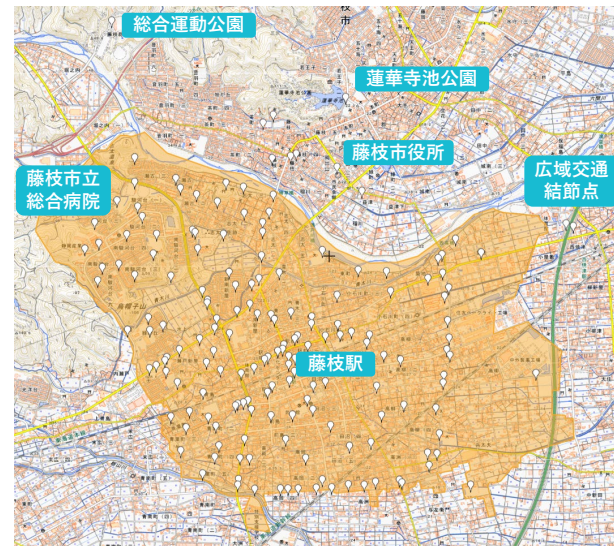
- 持続可能な地域交通の在り方を議論したうえで、エリアや価格帯などサービスデザインを実施。
- 藤枝市立地適正化計画においてDID内に定める「都市拠点」においてAIオンデマンド交通の実証運行を実施。
- 地域商店や飲食店等との連携強化を図り、交通利用とサービス利用が一体となった収益確保の有効性を検証。
- 路線バスやデマンドタクシー、レンタカー、シェアサイクリング等との乗継ぎ促進や、パーク&ライドを行い、利用者ニーズに合った移動手段を提供。

### 今後の展開

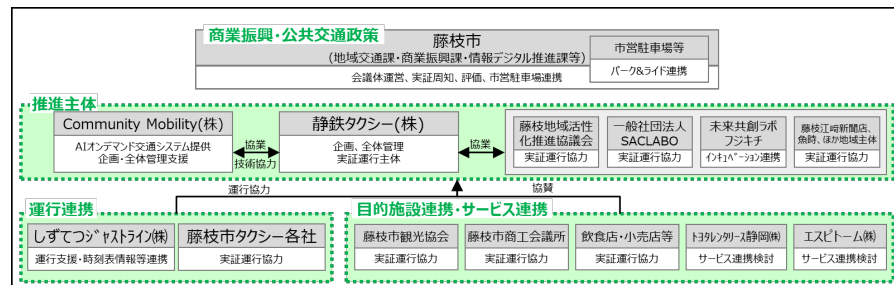
本実証運行結果を踏まえて、極力早い事業化を目指す。

### 事業実施区域

出典：国土地理院



### 事業体制



# 送迎需要のデマンドタクシー(チョイソコリゅうおう)への転換事業(滋賀県竜王町)

## まちづくり×交通

### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
竜王町公共交通活性化協議会
- 【実施主体】  
竜王町地域公共交通活性化協議会
- 【共創パートナー】  
竜王町(自治体)  
近江タクシー株式会社(交通)

### 地域課題

竜王町における公共交通の現況では、夕方開始の習い事は保護者の送迎が必須となっている。

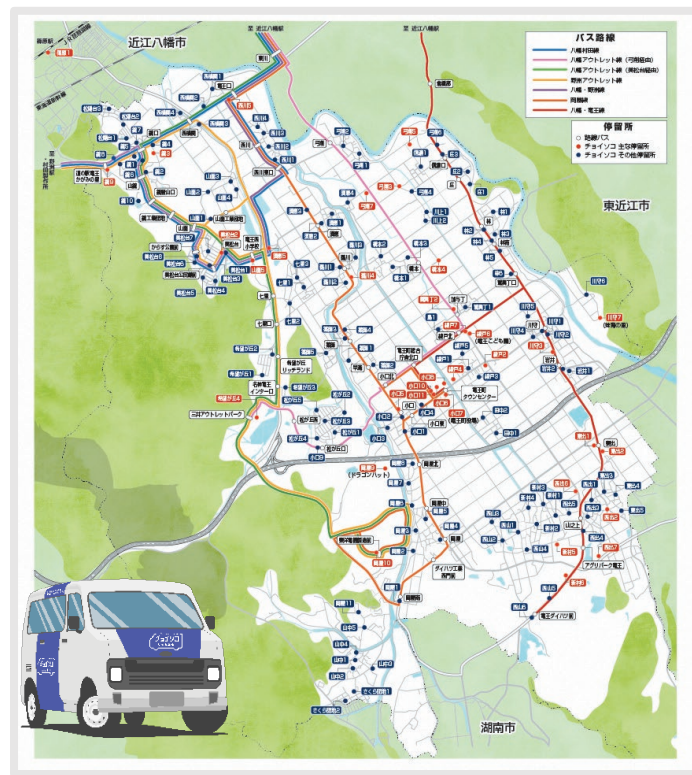
### 実証事業内容

- 「チョイソコリゅうおう」の運行時間を拡大する。
- 送迎負担を公共交通に転換するには、こどもひとりで乗降できる環境整備が必要であり、そのための取組として、運行事業者(近江タクシー)、ICOCA決済システム管理運営者(JR西日本・近江鉄道)との連携のもと端末の導入を行う。
- 並行して乗降をお知らせする「見守りメール」を保護者へ送ることにより、安心していただけるフォロー機能を整える。

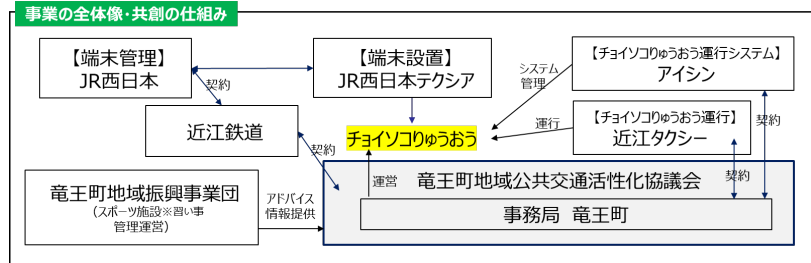
### 今後の展開

本取組において、課題解決および需要が認められた場合、実証後も同様に事業を継続する。その中で、中長期的においては、こどもの乗車に伴う保護者の安心感をいかにサービスとして提供できるかという目線をもって、予約方法や車内設備の内容等を検討していくことで、利用者のニーズに対応していき、地域に根ざした移動手段となることを目指す。

### 事業実施区域



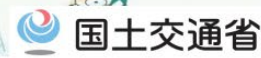
### 事業体制





# AIオンデマンド交通とシェアモビリティによる和歌山市観光促進モデル(和歌山県和歌山市)

まちづくり・交通×交通



## 事業実施主体

【共創プラットフォーム】  
和歌山市観光促進モデル共創プラットフォーム  
【実施主体】ユタカ交通株式会社  
【共創パートナー】和歌山市(自治体)  
OpenStreet株式会社 (モビリティ)

## 地域課題

- 観光資源を十分に活かしておらず観光客の誘致が進んでいない。
- 観光地をつなぐ二次交通の整備やインフラ整備が遅れている。
- 公共交通機関などの供給量が不十分であり、ホテルと観光地や観光地間の移動手段に課題がある。

## 実証事業の内容

- 和歌山市と地元旅客運送事業者及びシェアモビリティ事業者が共創し、AIオンデマンド交通とタクシー・電動モビリティを活用したデマンド交通システムの実証運行を行う。
- 宿泊施設等と観光地や、観光地間の移動、観光地と市街地をつなぐシームレスな交通インフラを機能化する。
- AIオンデマンドによる検索・予約・決済等を一括で行うサービスを導入することで観光客の利便性を確保し、移動の効率化による消費拡大を図り、和歌山市の観光産業を持続的に発展させる。

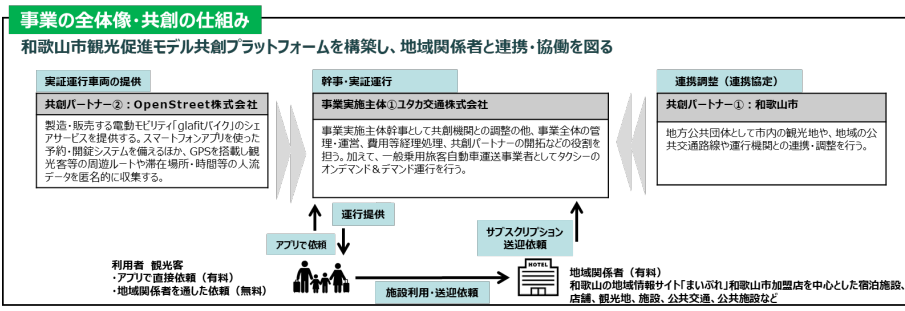
## 今後の展開

- 継続して開拓を進めていき、実証運行終了後3年間で100店舗の加入をめざす。
- 分析結果を見ながら、交通利用者に対して、地域関係者の車内広告(タクシー内動画広告・バス内のポスター掲示広告など)を行うなど地域関係者へ還元できる施策も随時検討していく。

## 事業実施区域

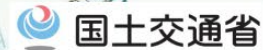


## 事業体制



# エコ楽タクシーMasS(香川県坂出市)

## 医療×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】  
エコ楽タクシーMaaSプラットフォーム
- 【実施主体】有限会社 大和タクシー
- 【共創パートナー】  
社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院 (医療) 他

### 地域課題

- 市街地から離れて暮らす高齢者の多様化するニーズに応えきれていない。
- 燃料価格高騰等による不安定なエネルギー供給体制。

### 実証事業の内容

- AIオンデマンドシステムの導入によるフルデマンドサービスの提供。(医療機関との連携による送迎サービス提供等)
- EV車両、充電設備、エネルギーマネジメントシステム等の導入。(システム事業者との連携によるエネルギー供給体制の構築)

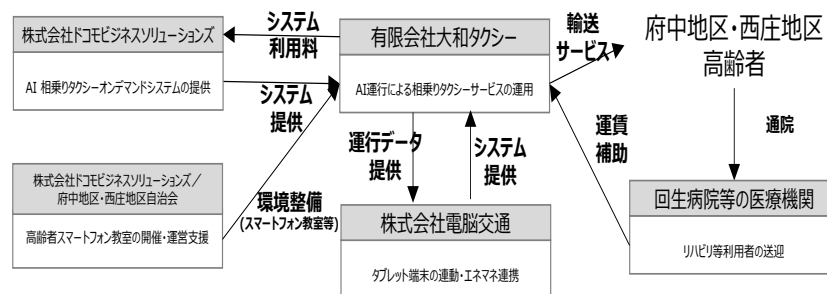
### 今後の展開

- サービスの深化：実証運行によりニーズを把握し、高齢者を中心に学生、子育て中の家庭等の要望に応えられるサービスの向上を目指す。
- 対象エリアの拡大：オンデマンドタクシーエリアを他のエリアに拡大することで、収益の増加と、1エリアあたりの固定費の削減を目指す。

### 事業実施区域

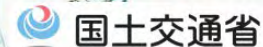


### 事業体制



# 基山町オンデマンド交通実証運行事業(佐賀県三養基郡基山町)

まちづくり×交通



## 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】基山町地域公共交通活性化協議会
- 【運送実施主体】有限会社基山タクシー
- 【共創パートナー】有限会社基山タクシー、基山町

## 地域課題

基山町は、町外へのアクセス性はとても高いが、町内輸送については、路線バスがなくコミュニティバスやタクシーのみで、町内移動手段の利便性向上が課題となっている。既存のコミュニティバスは、随時ダイヤ改正等を行いながら町内全域を運行しているが、運行本数が十分でないため、買い物や通勤通学での利用需要に対応できていない状況である。また、高齢化が一気に進んでおり、運転免許証の自主返納者が今後増加していくことが予想され、自家用車に頼らずとも外出・移動しやすい環境創出が必要な状況にある。

## 実証事業の内容

都市構造や多様な移動特性・ニーズ（目的施設・店舗、余裕時間、歩行難易度、荷物の有無等）を踏まえ、予約制・乗合型の「オンデマンド交通」の実証運行を行う。なお、地元小学校児童にオンデマンド交通での通学を体験してもらうことで、通学利用の需要についても検証を行う。

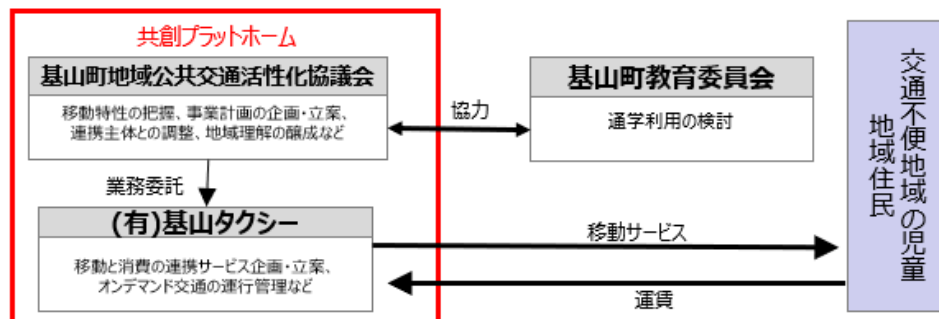
## 今後の展開

地域受容性や採算性、持続可能性等を十分に検証し、地域公共交通サービスの再構築、各種連携サービスの具体化に向けた協議・調整、円滑かつ持続可能な事業実施のための体制づくり、地域理解醸成に向けた継続的な取り組み等を行う。

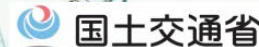
## 事業実施区域



## 事業体制



まちづくり×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

新価値観光創出による地域交通課題解決コンソーシアム

【実施主体】 住友商事株式会社

【共創パートナー】 沖縄県国頭郡本部町

東武トップツアーズ株式会社

第一交通産業株式会社

(那覇第一交通株式会社/オリオン第一交通株式会社)

地域課題

- ・観光客が一極集中してしまうような観光地から分散させるオーバーツーリズム解消及び地域経済の活性化
- ・沖縄北部地域における二次・三次交通の拡充
- ・タクシー乗務員の営業収入の増加等の待遇改善による人材確保

実証事業の内容

- ・那覇/恩納村等の地域から、環境に配慮したEVタクシーで顧客を本部町へ案内し、地域の観光スポットを巡ることでNFT(※)を獲得することが可能なツアーを提供。
- ・タクシーでの一貫輸送による二次・三次交通の確保、乗務員への新たな乗務機会の創出。
- ・主要な観光地だけでなく、地元で人気の“穴場”スポットを複数巡ることで地域経済を活性化。

今後の展開

中期的には本部町以外の沖縄北部地域への展開を見込む。長期的には①二次・三次交通に課題のある地域、②域内に観光地が多く存在する地域の条件で、その他モビリティサービスとの連携も視野に入れながら、展開をしていく予定。

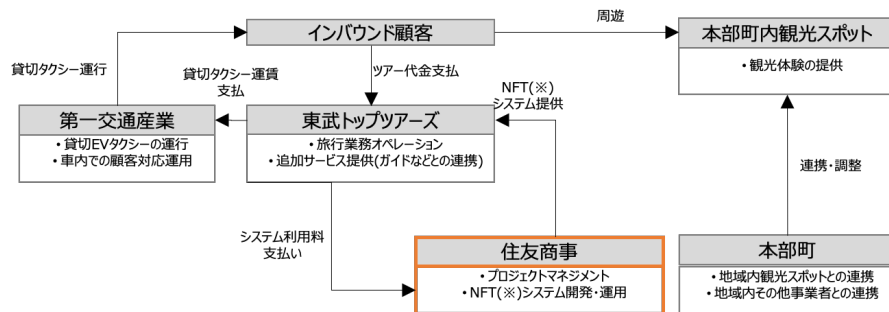
事業実施区域

地図データ引用元：Adobe Stock



沖縄県南部～沖縄県国頭郡本部町

事業体制



※NFT (Non-Fungible Token) は、ブロックチェーンを使ってデジタルアイテムの独自性と所有権を証明する技術です。